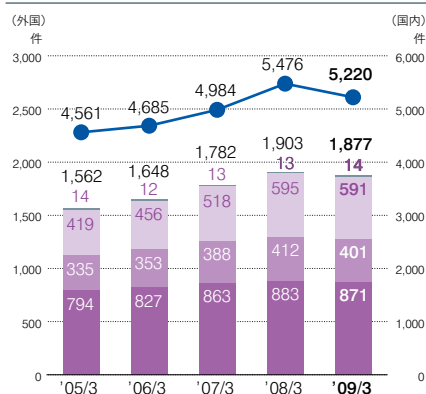


知的財産

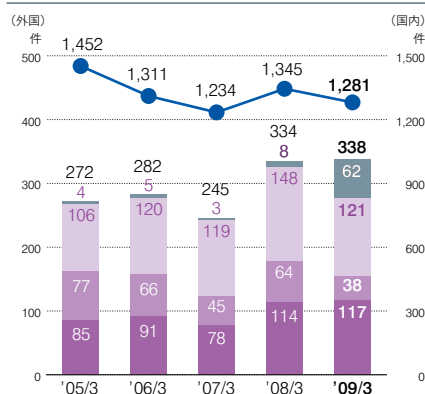
地域別特許保有件数

外国(左軸)：■ アメリカ ■ 欧州 ■ アジア ■ その他
● 国内(右軸)



地域別出願件数

外国(左軸)：■ アメリカ ■ 欧州 ■ アジア ■ その他
● 国内(右軸)



● 知的財産活動方針

富士電機グループは、自他の知的財産権の尊重を基本に、事業戦略および研究開発戦略と連動した知的財産活動を推進しています。グループ各社で、「パテントポートフォリオの改善」を共通の特許戦略目標に掲げて、①有効な特許の権利化によるポートフォリオの強化、②他社特許の調査・回避などによる特許係争リスクの低減、③保有特許のたな卸による不要特許などの活用、④主力製品の特許バランスの適切なマネジメントを推進しています。

● 知的財産活動体制

グループ全体の知的財産戦略の企画・策定など戦略機能に特化した富士電機ホールディングス(株)知的財産権部門と知的財産関連業務を扱う富士テクノサーベイ(株)および各事業会社の知的財産権担当部門からなり、グループ全体の知的財産戦略をベースに相互に協力して知的財産活動を推進しています。

2009年度は、各事業分野における競争優位性を支える知的財産権群の構築推進などに引き続き取り組みます。

● 2008年度の知的財産成果

当社グループの事業を守りそしてさらなる事業強化のため、2008年度にグループ全体で1,300件弱の特許を出願し、特許保有件数は国内で5,200件強となりました。また、外国出願については、半導体、ディスク媒体、器具などの分野を中心に、米国や欧州、中国等アジア地域で約340件を出願しており、地域別累計件数で2,000件弱の外国特許を保有しています。

注力分野である「エネルギー・環境」関連の取り組みでは、フィルム型太陽電池などの新エネルギーに関連する特許、ならびにパワー半導体、インバータ、電源装置などのパワーエレクトロニクスに関わるデバイスや装置の高効率化、省エネルギー化、省資源化を支える多くの特許を出願・保有しております。また、ものづくりに関わる特許では、独自のフィルム型太陽電池の製造技術をはじめ、りん酸形燃料電池の製造方法、半導体素子・デバイスの製造方法など、多数出願・保有しています。